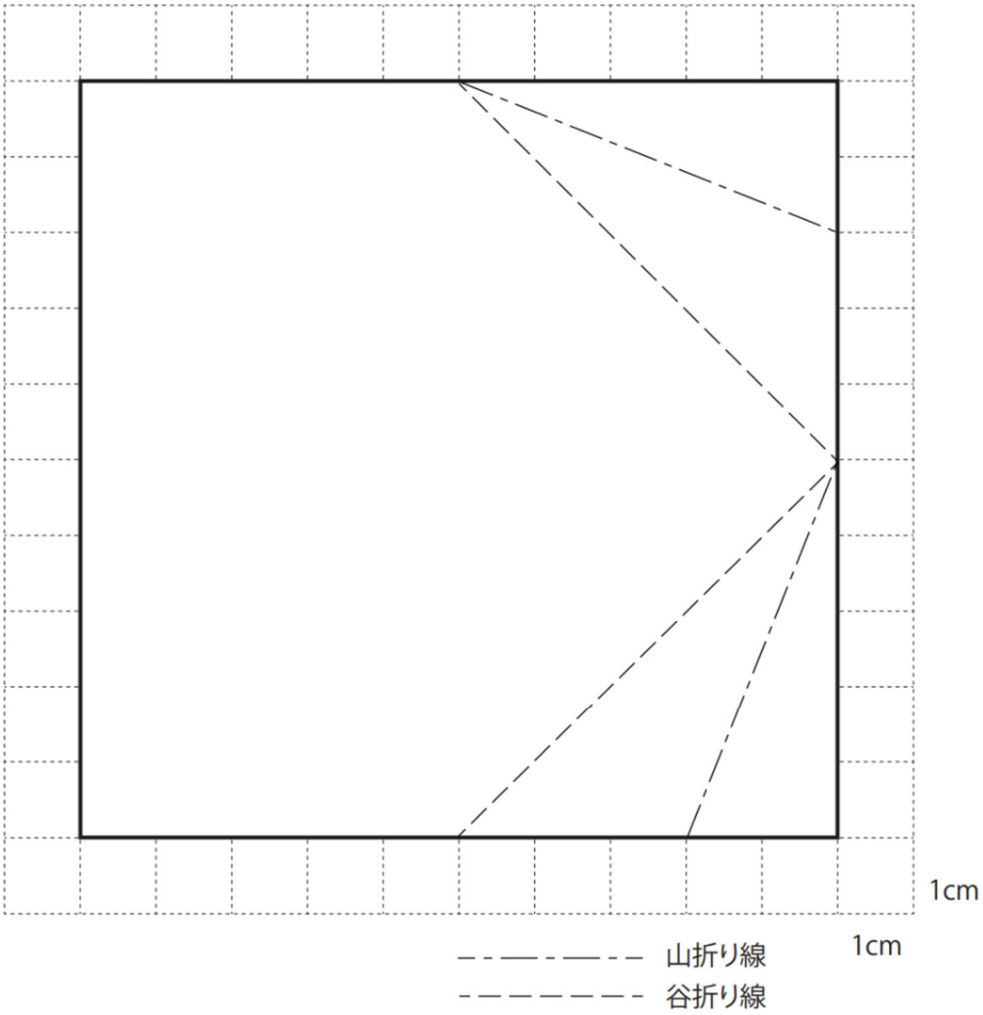
〈2 月前期選抜〔C 日程〕〉

問題 A（見て描く），問題 B（想像して描く）のいずれか一つを選び，その解答を鉛筆と色鉛筆を用いて画用紙にフリーハンドで描きなさい（画用紙の裏面に必要事項を記すこと）。なお，選んだ問題（「A」または「B」）を画用紙の右下に明記すること。

【問題 A（見て描く）】

配付された一辺 10cm の正方形の紙 1 枚の裏に，色鉛筆で縞模様を描きなさい。この紙を図のように折り，軽く広げて机上に置きなさい。折った上の一部にあなたが持参した机上にある筆記用具 2 つを重なるように置き，紙の裏側が一部見える角度で描写しなさい。

なお，縞模様の色や方向，紙の置き方，筆記用具の種類，配置など与えられた条件以外は自由に設定してよいものとする。

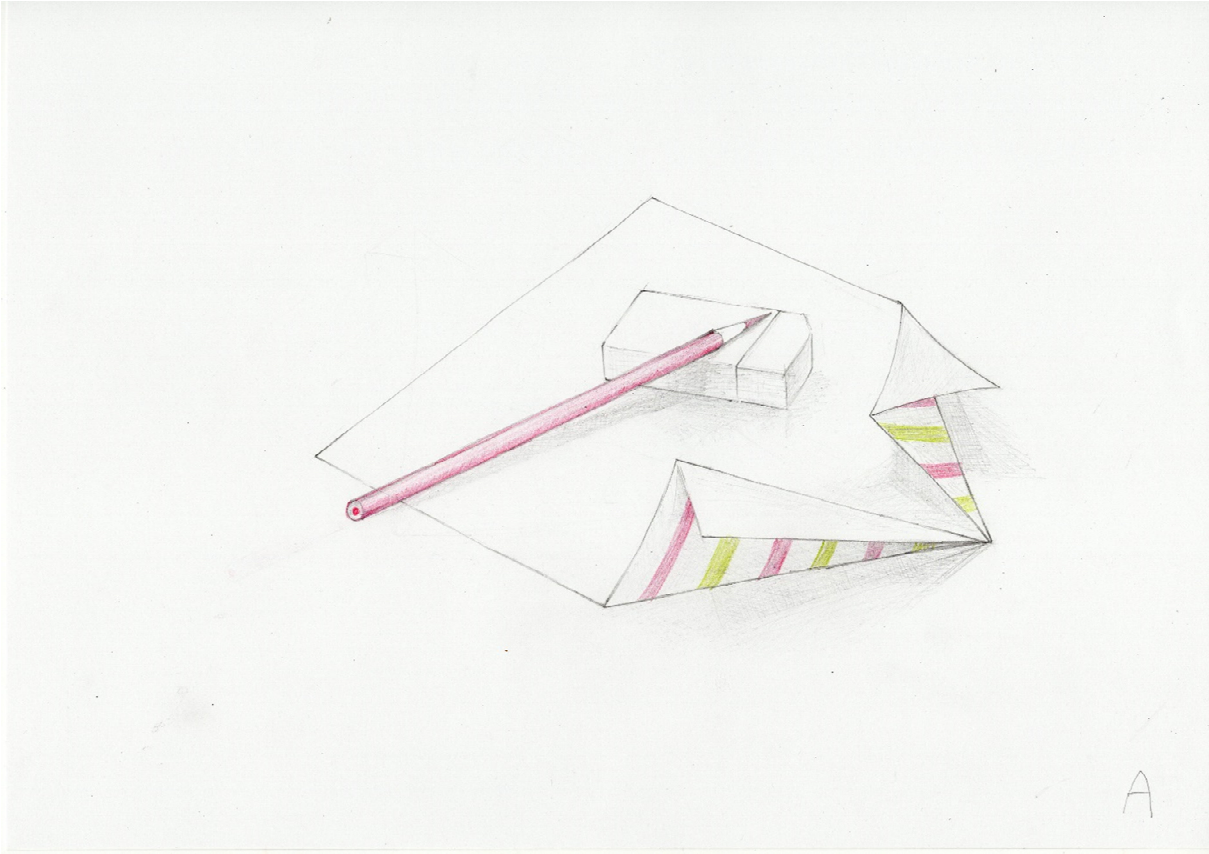


図（表面）

【問題Ａの解説】

まず、問題文全体を読み、描画する要素を把握します。配布された正方形の紙の裏面に縞模様を描き、図に合わせて折り、「紙の裏側が一部見える」ように、折る角度や位置を調整します。また、机上にある２つの筆記用具をどのように置くと安定して美しい構図になるのかを検討することも大切です。

実際に指示された状態を作ったら、それぞれの材質感が伝わるように描き、陰影もしっかり見て描き込みます。

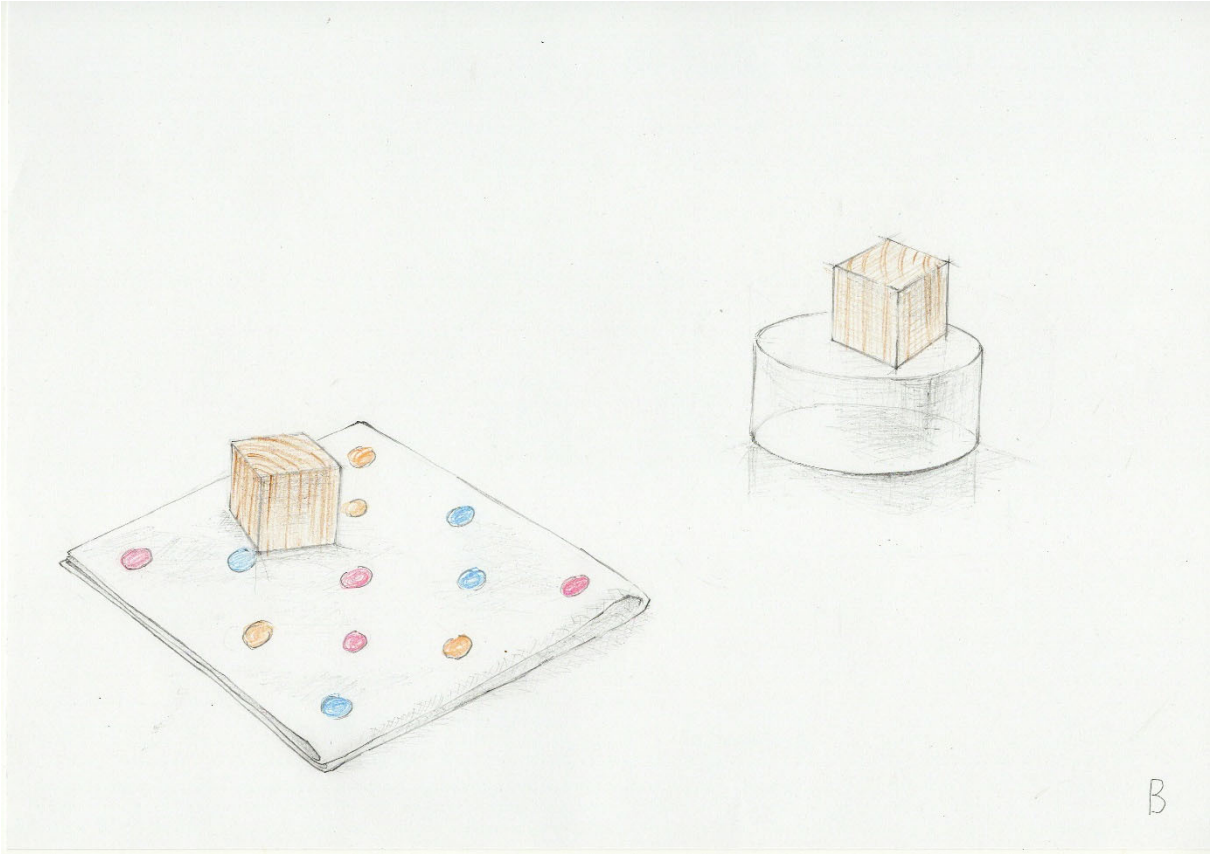


【問題Ｂ（想像して描く）】

直径 10cm，高さ 5cm の透明なアクリルの円柱 1 個と，1 辺 5cm の木目のはっきりした木製の立方体 2 個が白い平面上に置かれている。３つの立体のうち２つは重ねて置かれており，単独で置かれた立体の下には，1 辺 30cm のカラフルな水玉模様のハンカチが，角を合わせて２回折って置かれている。この状態を想像して描きなさい。

なお，立体の重ね方や配置，ハンカチの色，折り方などは，自由に設定してよいものとする。

【問題Ｂの解説】

まず、 問題文から描くべき要素と条件を確認し、その状態をイメージします。それぞれの要素について、寸法が明記されているので、

プロポーションに注意して描きます。全体のバランスを考えて美しく見えるように各要素の配置（構図）を決め、光の方向を設定します。透明なアクリル、木目のはっきりした木材、水玉模様のハンカチ、それぞれの質感の違いや陰影を色鉛筆と鉛筆のタッチで描き分けます。円柱と立方体という基本的な形状をきちんと描けているかどうかも重要なポイントです。それぞれのモノとしての存在感や立体感を出すためには、色の重ね方や陰影の描き方を工夫することが大切です。